

高村光太郎花巻疎開80年企画展

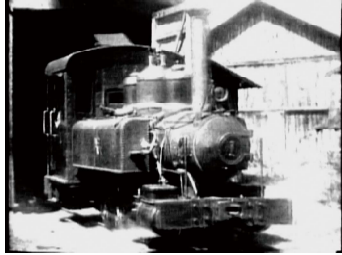
昔なつかし花巻駅

花巻駅のジオラマと記録映画でたどる

令和7年 7月12日~11月30日

高村光太郎記念館





岩手軽便鉄道は花巻から釜石を仙人峠の索道を経て結ぶ鉄道の一部として大正2(1913)年に開業。後の釜石線の前身です。

岩手軽便鉄道が国有化される昭和11(1936)年に撮影された記録映画には、花巻駅から仙人峠までの沿線の様子が収められ、昭和初期の様子を知ることができる貴重な資料です。

国有化の後、昭和25(1950)年には、釜石線が花巻から釜石まで鉄路で全線開通しました。同年、岩手軽便鉄道の社長を務め花巻温泉の開発にも取り組んだ金田一^{くにお}国土の功績を高村光太郎^よが詠んだ『金田一国土頌』碑が花巻温泉に建立され、除幕式には光太郎も出席しています。

企画展では記録映画の上映のほか、岩手軽便鉄道や路面電車の花巻電鉄が乗り入れて賑わっていた昭和初期の花巻駅周辺の様子を情景として表現したジオラマを展示します。

高村光太郎記念館

〒025-0037 岩手県花巻市太田3-85-1 ☎0198-28-3012
開館 午前8時30分 閉館 午後4時30分 休館日 12月28日～1月3日

高村光太郎記念館 入館料

一般 350円／高校生・学生 250円／小・中学生 150円
※団体入場(20名以上)は上記から一人あたり50円割引

